学校番号	１００６

令和２年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代保健体育　（大修館）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「保健」においては，学習指導要領の大項目「（１）現代社会と健康」，「（２）生涯を通じる健康」，「（３）社会生活と健康」を内容のまとまりとした。

２　学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし，生涯を通じて自らの健康を適切に管理し，改善していく資質や能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	現代社会と健康，生涯を通じる健康，社会生活と健康について関心をもち，意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康，生涯を通じる健康，社会生活と健康について，課題の解決を目指して総合的に考え，判断し，それらを表している	現代社会と健康，生涯を通じる健康，社会生活と健康について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	授業評価	授業評価 定期テスト	授業評価 定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	現代社会と健康	健康の考え方	○	○	○	a：国民の健康水準と疾病構造の変化，健康の考え方と成り立ちについて，資料を探したり，見たり，読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。健康に関する意志決定や行動選択，健康に関する環境づくりについて，課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：国民の健康水準と疾病構造の変化，健康の考え方と成り立ちについて，資料等で調べたことを基に，課題を見付けたり，整理したりするなどして，それらを説明している。健康に関する意志決定や行動選択，健康に関する環境づくりについて，学習したことを，個人及び社会生活や事例などと比較したり，分類したり，分析したりするなどしている。また，筋道を立ててそれらを説明している。 c：健康の考え方は，国民の健康水準や疾病構造の変化に伴って変わってきていること，健康は様々な要因の影響を受けながら，主体と環境の相互作用の下に成り立っていること，健康の保持増進には，健康に関する個人の適切な意志決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	受講状況の観察 定期テスト

2		健康の保持増進と疾病の予防	○	○	○	a：生活習慣病と日常の生活行動について，資料を探したり，見たり，読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。喫煙，飲酒と健康，薬物乱用と健康，感染症とその予防について，課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：生活習慣病と日常の生活行動について，資料等で調べたことを基に，課題を見付けたり，整理したりするなどして，それらを説明している。喫煙，飲酒と健康，薬物乱用と健康，感染症とその予防について，学習したことを，個人及び社会生活や事例と比較したり，分析したり，評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 c：健康の保持増進と生活習慣病の予防には，食事，運動，休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること，喫煙と飲酒は，生活習慣病の要因になること，薬物乱用は，心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと，喫煙と飲酒，薬物乱用の対策には，個人や社会環境への対策が必要であること，感染症の発生や流行には，時代や地域によって違いがみられること，感染症の予防には，個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	受講状況の観察 定期テスト

		精神の健康	○	○	○	a：欲求と適応機制，心身の相関について，資料を探したり，見たり，読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。ストレスへの対処，自己実現について，課題の解決に向けての話合いや意見交換，体験活動などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：欲求と適応機制，心身の相関について，資料等で調べたこと基に，整理したり，自分の考えを導き出したりして，それらを説明している。ストレスへの対処，自己実現について，学習したことを，個人及び社会生活や事例と比較したり，分析したり，評価したりするなどしている。また，筋道を立ててそれらを説明している。 c：人間の欲求と適応機制には，様々な種類があること，精神と身体には，密接な関連があること，精神の健康を保持増進するには，欲求やストレスに適切に対処するとともに，自己実現を図るよう努力していくことが重要であることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	受講状況の観察 定期テスト

3		交通安全	○	○	○	a：交通事故の現状，交通社会で必要な資質と責任について，資料を探したり，見たり，読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。安全な社会づくりについて，課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：交通事故の現状，交通社会で必要な資質と責任について，資料等で調べたことを基に，課題を見付けたり，整理したりするなどして，それらを説明している。安全な社会づくりについて，学習したことを，個人及び社会生活や事例と比較したり，分析したりするなどしている。また，筋道を立ててそれらを説明している。 c：交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備などが関わること，交通事故には責任や補償問題が生じることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	受講状況の観察 定期テスト

		応急手当	○	○	○	a：応急手当の意義について，資料を見たり，読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。日常的な応急手当，心肺蘇生法について，実習，話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b：応急手当の意義について，資料等で調べたことを基に，課題を見付けたり，整理したりするなどして，それらを説明している。日常的な応急手当，心肺蘇生法について，分析したり，評価したりするなどしている。また，筋道を立ててそれらを説明している。 c：適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること，応急手当には，正しい手順や方法があること，心肺蘇生等の応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることについて，理解したことを発言したり，記述したりしている。	受講状況の観察 定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。